

## 平成 25 年度第 1 回山梨県後期高齢者医療懇話会議事録

日 時	平成 25 年 7 月 24 日 (水) 午後 3 時 20 分から午後 4 時 45 分まで
場 所	山梨県自治会館 2 階 会議室
出 席 者	被保険者を代表する委員 奥水泉 (老人クラブ)・渡邊森藏 (老人クラブ) 江間知羞子 (老人クラブ)・中山芳次 (老人クラブ) 医療関係団体を代表する委員 原 寛 (医師会)・花形哲夫 (歯科医師会) 学識経験者その他の有識者を代表する委員 小澤賢蔵 (県福祉保健部)・戸田 知 (社会福祉協議会) 医療保険者等を代表する委員 田村芳夫 (健康保険組合連合会)・保坂和則 (国保連合会) 広域連合 菊原事務局長・小俣事務局次長・坂本業務課長・小澤会計管理者 望月総務担当リーダー・吉野資格担当リーダー・若月給付担当リーダー 齊藤庶務担当リーダー
欠 席 者	被保険者を代表する委員 芹澤福子 (老人クラブ) 医療保険者等を代表する委員 高橋徳誉壽 (健康保険協会)
傍 聴 人	なし
報道関係者	なし
懇 話 事 項	1 「後期高齢者医療制度等の概要説明」事務局より説明 (別冊 1) 2 「保険料について」事務局より説明 (別冊 2) 3 その他 その後、各委員より下記のとおり意見がでた。

### 記

- 保健活動といった保健事業に被保険者が、積極的に参加していけば医療費の削減につながっていくと思う。
- 国民会議の素案についてですが、国保の制度改革にあわせるような形になるようだと思うので、制度自体そんなに大きく変わるわけではないと思うので、来年再来年度への混乱はそんなにならないと思う。
- 社会保障改革国民会議が開催されているが、健保連、健康保険組合の要望事項がなかなか発言されていない、改善されていない。一番改善してほしいのは医療費が高くなっている、医療の構造改革が絡んで値上がりするのは分かるが、健保連、平成 17 年 1,800 組合だったものが、今年の 4 月付けで 1,500 を欠けた。それだけ、解散する組合が増えている。今回の国民会議でうまい方向にってもらえばいいが、現段階では希望に沿わないようで、だから 8 月 21 日までにどう肉付けをしてもらえるか分からないが、期待したい。

- それぞれの代表の方たちの意見を連合長に届けるというこの委員会は非常に重要な委員会に位置付けられている。事務局はぜひ懇話会の委員の意見を連合長に率直にお届けしていただきたい。
- 皆さん方代表のなかでも疑問に思う、あるいはご意見等があれば、各団体が持ち得ている知識等をそれぞれの各団体の方へお届けすることができるとするならば、この委員会としてその他の中で大きな役割を果たすのではないかと思う。
- 時間の中で意見交換をさせていただいてもいいと思う。
- この会議というものはそれぞれの組織の代表者がお集まりいただいて、疑問とか発言をしていただく会ということですので、私たちが頂いた意見とか提言とかありますので、確実に連合長には届けたい。
- 今後レセプト等の自主点検とかを積極的に進めて、より医療費の適正化に努めていくようになっていきますので、積極的に意見や提言をどんどん出していただきたい。